

草刈機の

事故に

ご注意ください!



草刈機を使う際の注意点

- ◆作業時の服装は、長袖・長ズボンとし、ゴーグル・すね当て・ヘルメットなど適切な保護具を装着しましょう。
- ◆作業前に、小石や空き缶などの異物を除去し、周囲(最低 15m以内)に人がいないことを確認しましょう。
※小石等は一般的に 10m以上飛びます。
- ◆作業は、除草作業者のほか、ネット等で飛び石をガードする人を配置するなど、複数人で役割分担して行いましょう。
- ◆刈刃に絡まった草や異物を取り除く際は、必ずエンジンを停止させてから行いましょう。
- ◆障害物などに刈刃が接触した際に弾かれて起きるキックバック(刈刃の跳ね返り)に注意しましょう。
- ◆刃の回転数は極力さげて作業をしましょう。
- ◆足場の悪い場所や急傾斜地での作業は、鎌などの使用も検討しましょう。



裏面に続く

●作業時の服装・保護具の例



※出典：一般社団法人日本農業機械工業会

●飛散を防止するネット



草刈機の回転する刃に接触した小石などの異物が飛散し、車や人に当たる事故が発生する危険があります。飛散を防止するネットを使用する等、事故防止対策を実施しましょう。

※出典：国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所

●事故が起きてしまった場合

町内会が道路・公園の草刈り等の公益的な活動を行っている際に事故が起こった場合、岡崎市市民活動総合補償保険により傷害保険金、賠償責任保険金が支払われる可能性があります。

事故が起きてしまった場合は、町総代を通じて速やかに下記担当又は活動を把握している部署へご連絡ください。

※対物の事故（自動車のガラスを破損した場合等）の場合、修理をする前に必ず事故の状況が分かる写真を撮ってください。

担当：岡崎市市民安全部市民協働推進課